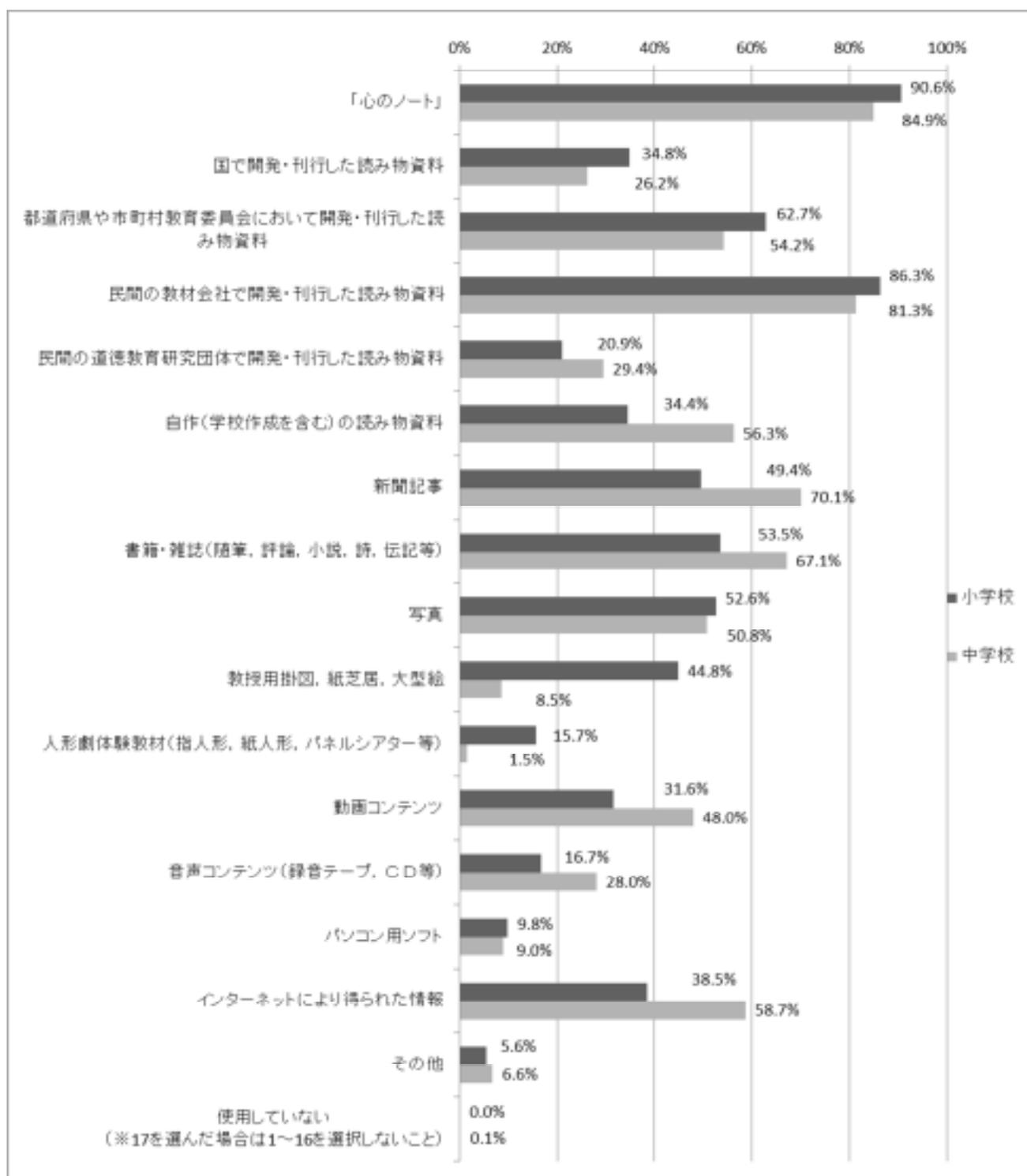


道徳教育用教材の使用状況等について

1. 道徳教育用教材の使用等に関する状況

(平成24年度道徳教育実施状況調査より 調査対象：公立小・中学校)

(1) 道徳の時間で使用している教材（平成23年度）



(2) 道徳用副読本の使用形態（平成23年度）

		小学校	中学校	合計
1	児童生徒各自に持たせて使用している	39.6%	47.6%	42.2%
2	学校備え付けにして使用している	55.5%	43.1%	51.5%
3	学校にも備え付け、児童生徒各自にも持たせて使用している	3.9%	4.8%	4.2%
4	使用していない	1.0%	4.5%	2.1%

(3) 個人持ちの副読本の購入形態（平成23年度）

※上の間で1または3と回答した学校のみ回答

		小学校	中学校	合計
1	文部科学省の「道徳教育総合支援事業」を活用し、無償で配布している	2.9%	3.0%	2.9%
2	公費で購入し、無償で配布している （1に係るものを除く）	35.6%	30.7%	33.8%
3	一定額を個人負担させている	2.1%	2.2%	2.1%
4	全額を個人負担させている	59.4%	64.1%	61.1%

2. 道徳教育用教材の活用に係る支援

○文部科学省「道徳教育総合支援事業」による支援

- ・ 学校・地域の実情等に応じた多様な道徳教育を支援し、道徳教育の充実を図ることを目的に実施。
- ・ この事業を活用して、平成25年度においては31自治体等が児童生徒対象の道徳教育用教材を作成配布又は購入配布を予定。

（平成25年度予算：約4億円 委託事業のため、経費は国が全額負担。）

地域に根ざした道徳教育の推進

(平成24年度予算額 : 630,512千円)

平成25年度予算額 : 831,305千円

【背景】

- 未来を担う子どもたちの豊かな人間性を育成する重要性
- 教育基本法における教育の目標として、「豊かな情操と道徳心を培う」を新規規定
- 新しい学習指導要領において、道徳教育の更なる充実

【課題】

- 道徳の時間の指導の形式化
- 学年段階が上がるにつれて子どもの受け止めが良くない
(特に高等学校における道徳教育が課題) など

～道徳教育総合支援事業～

自治体による多様な事業への支援

- (1) 特色ある道徳教育支援
 - ◆ 外部講師派遣、道徳教育研修
 - ◆ 保護者・地域との連携 など
- (2) 道徳教材活用支援
 - ◆ 地域教材作成
 - ◆ 国作成教材(読み物資料など)活用 など



「心のノート」活用推進事業

学習指導要領に示す道徳の内容項目に沿って編集した「心のノート」の改訂及び全国の小・中学生への配布・活用



日本人のよさを生かし伸ばす道徳教材の開発活用

東日本大震災からの復興に向けた支え合いなど、世界から高い評価を受けた日本人の道徳性を一層生かし伸ばすため、道徳教育の視点毎に読み物資料を作成



道徳教育推進協議会

地域における創意工夫を生かした実践事例の紹介など、道徳教育の推進方策に関する全国協議会を開催



学校・地域の実情等に応じた道徳教育の促進、道徳教育の質の向上